



地域に根差して53年 since 1969



## Hatta Medical News



2024年7月号



## 熱中症に注意！



## (1) 热中症を引き起こす要因

**環境：**気温が高い  
湿度が高い 風が弱い 日差しが強い  
い 急に暑くなっ

た エアコンの無い部屋

**からだ：**高齢者や子供 低栄養状態 二日酔いや寝不足など体調不良 下痢や嘔吐、発熱などによる脱水

**行動：**激しい筋肉運動 なれない運動 長時間の屋内作業 水分補給できない状況

## (2) 热中症の症状：めまい 頭痛 意識障害

失神 筋肉痛 吐き気・嘔吐 けいれん  
筋肉の硬直 倦怠感 体温上昇

**(3) 热中症の対処方法：**まず意識がはっきりしているか確認し、意識がもうろうとしていれば躊躇せずに医療機関へ！意識がはっきりしていれば、安全で涼しいところへ移動し横になり休ませる。水分補給をさせる

（スポーツドリンクや、1Lの水に1~2gの塩を加えたもの、OS-1など）。水分が取れなかったり、症状が改善しないときは医療機関へ！ただし、糖尿病をお持ちの方は、スポーツドリンクの糖分にもご注意ください。

**(4) 热中症の予防：**無理をしない。徐々に体を暑さに慣らす。体調が悪いときは特に注意。室内でも安心しない。一度熱中症になつた人は、他の人よりさらに注意が必要。

## 「暑さ指数」をチェックしましょう

**暑さ指数=気温：湿度：輻射熱の効果**

=1:7:2 温度が最も重要！

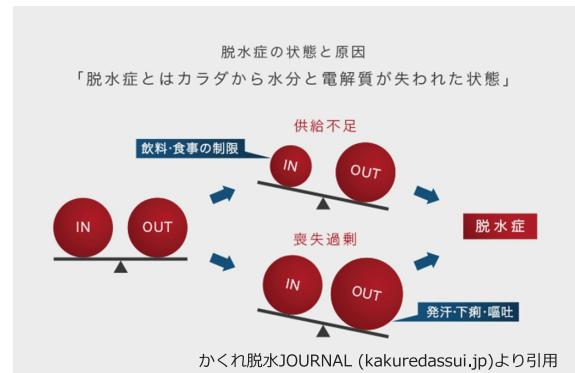
室温だけでなく、湿度も表示されるものを家において毎日温度チェックをしてください。

7/8/9/10月休診

7/13~7/16 医院休診

8/11~8/18 医院休診

脱水症は単なる脱水ではありません



## 暑さ指数

相対湿度(%)																
20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
37	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	36
32	23	24	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	35	35
31	22	23	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	30	31	31	32
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	30
26	18	19	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	18	19	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	25
21	15	15	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24
WBGT値				注 意 25℃未満				警 戒 25℃~28℃				厳重警 戒 28℃~31℃				危 険 31℃以上

(ここで、28℃~31℃は、28℃以上31℃未満の意味)

(日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.1 2008.4 から)

日常生活に関する指針			
温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項	
危険 (31℃以上)	全ての生活活動で起る危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	
厳重警戒 (28~31℃未満)		外出中は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	
警戒 (25~28度未満)	中等度異常の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際には定期的に十分に休息を取り入れる。	
注意 (25度未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険がある。	

(日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より)





## ○旬の魚で、簡単にできるマリネ○

先日、ショッキングなニュースが報告されていました。府民の食塩摂取量は全国平均より0.8gも多かった・・・京料理は薄味なのに・・・今一度「あなたの塩分チェック」にチャレンジしてみましょう。今回は、魚の旨み・野菜の歯ざわり・酸味を使って塩気控え目。手軽にできて、美味しいだけのレシピをご紹介します。

2022年の京都府の健康栄養調査で京都府民の平均食塩摂取量は、男性11.8g女性10.2gとなり、目標の男性7.5g未満女性6.5g未満を3g以上オーバーしてしまいました。特に70歳以上の方々が高値になっています。府健康対策課は「和食を好むのでしょうかの量が多いのでは？？漬物？？」など分析しています。食塩を多くとりすぎると、もちろん高血圧になりやすいし、心疾患や胃がんのリスクをも高めます。

**高齢になり食事量が減ったり、偏ったりするとたんぱく質の摂取が減ってしまうと、塩気の味覚が鈍くなるようです。煮物を作る時しょうゆを入れすぎたり、煮物料理が重なったりしませんか？**

外食や中食（調理済み食品を購入し家庭で食べる）も他の年代に比べると、その利用は低いようですが、利用する時に、しょうゆやソースなどをなにげなく、足したりすることもあります。また、栄養成分表示には、食塩相当量が記載されていますが、それを参考にしている割合も他の年代に比べると低いことがわかっています。日常使う食品の記載の場所は、わかりにくかったり、文字が細かくって見にくかったり・・・。やはりそれでも、気にして見ていただきたいのです。

栄養成分表示 1食分(10g)当たり	
エネルギー	0kcal
たんぱく質	0g
脂質	0g
炭水化物	0g
食塩相当量	0g

● 高血圧予防のため、食塩相当量をチェック  
減塩は、高血圧の予防や管理に効果があります  
 ふだんよく食べる食品からの食塩摂取量を減らす  
 調味料からの食塩摂取量を減らす

## 旬の魚で、簡単にできるマリネ



## 作り方

- ①新玉ねぎ・きゅうりはうす切りしてポン酢・しょうゆ・刻みにんにくを混ぜてしんなりさせる。（新玉ねぎがない時はかるく、ラップし、レンチンする）
- ②鮭をフライパンにならべ、軽く塩・コショウしてから、加熱し、裏返し焼く。（鮭以外でも、旬の魚ならどれでもおいしい：鯛・ぶり・たらなど）
- ③②の鮭に①をこんもり盛り付けて野菜の汁もかけておく。

材料・分量 2人分

生鮭	160 g (2切れ)
新玉ねぎ	100 g (1/2玉)
きゅうり	50 g (小1本)
ポン酢	20 c.c.
にんにく	1/2片
しょうゆ	5 c.c. (小1)
ごま油	12 c.c. (大1)
塩・コショウ	少々

栄養価 (1人分)  
 エネルギー 244 k cal  
 たんぱく質 17.3 g  
 脂質 16.4 g  
 食塩相当量 1.0 g



## 四年越しのスペイン旅行・・・(\*^~^\*)

この春、友人とスペインに行ってきました。実はこの旅行はお互いに定年まで勤めたご褒美として2020年の春に計画もコロナで中止となっていたものです。その後も友人の家族に不幸ができ一緒に行く機会がのびのびとなりやっと実現した旅行でした。旅程はバロセロナ→マドリード→トレド→グラナダ→トルカル・デ・アンテケラ→ロンダ→ゴルドバです。今回あまり行かれたことがないアンテケラとロンダについてご紹介したいと思います。

まずトルカル・デ・アンテケラですがヨーロッパで最も代表的なカルスト地形が20kmも広がる大自然の宝庫です。今から約1億6千万年前、ここは海の底だったのが地殻変動により隆起し独特の積み重ねられた岩とこぶのある景色が広がっています。展望台近くのビジャーセンターまで車でアクセスできるので老若男女たくさん的人がトレッキングに来られていました。（アンモナイトの化石を見るルートもあります。）私たちも1時間ほどのトレッキングに行き眼下に広がる素晴らしい景色を見る事ができました。アンテケラのご当地グルメ「ポーラ」もとても美味しかったです。

次にロンダですが断崖絶壁の上に築かれた街です。川の浸食によりできた峡谷の上に広がるロンダの街は谷を境に新市街と旧市街にわかれています。それをつなぐのが有名なヌエボ橋です。この橋は高さ98mもあり下から見上げた時の景色は圧巻です。泊まった宿は古い家をB&Bとして改修されていて庭からの景色も雄大で日本で言うと北海道の様な景色が広がっていました。朝食も庭で頂きました。



た。また旧市街を周回するハイキングコースも楽しみ、見ているだけで怖かったです。垂直の壁をロッククライミングする人々もいました。

友人はこの一年余りとても気落ちしていて、海外に個人旅行するのは初めてで精神面、体力面とも自分は旅行に行けるのかとても心配していました。今回、ホテルやB&B、エアビー（民泊）、アパート、ゲストハウス、パラドールなど色々な所に泊まりました。総じて旅で出会った方々はフレンドリーで優しく、電車の棚にスーツケースを置く場面でも必ず誰かがヘルプしてくれたり、レンタカーのガソリンの入れ方を聞いたら代わりに入れて貰えたりしました。友人は「行って良かった」「連れて行ってくれてありがとうございました」「もっとしっかり歩けるように身体を鍛えるね」と喜んでいました。



私はスペインに行けた事はもちろんですが落ち込んでいた友人が少しでも、日常の生活に前向きになるキッカケとなった事が何より嬉しいことでした。

さあ、次はどこの絶景を見に行こうかな・・・??